

みなさん お世話になっております 『 富山すもう愛好会 』です。
アマチュア相撲の普及や 『 相撲をとおして絆の輪を広げる活動 』をしております。

VOL・31 (2025.3)

事務局 黒部市沓掛766-2 岩井中 栄

【 機関紙の終了のお知らせ 】

本機関紙 『 富山すもう愛好会 』は VOL.31 今回をもって終了します。
約5年間に渡り年6回発行しておりましたが、時代は移り変わり『 県相撲連盟HPの充実 』
また 『 スマホでのライン や PCでの情報発信 』などが実施されております。

本機関紙は、県内の相撲関係者・愛好者や県外在学大学生へ郵送が61名、手配り51
名、PC案内が55名 また当連盟HP視聴者の皆さんありがとうございました。

これからもアマチュア・プロ問わず相撲を楽しみ普及や親睦を深めましょう！

これからも 『 富山県相撲連盟 ⇨ HP 』 で各種情報を見て下さい！

【 県連の活動を振り返り(私感) 】

県内の選手強化(県外・全国の成績)については、昭和30～40年頃に黄金期が有りそ
れ以降は 県外や全国的レベルで低迷していたと思います。

その後、香川丈二・高畑務の両理事長の熱意。中学においては新村定香、高校では
越本聡・荒井志朗・浦山英樹・犀藤和憲ほかの方々の指導。そして現在、なんとと言っても
全国トップレベルのアイシン軽金属(株)相撲部員を中心とした活躍。また優秀な若手指導
員や各郡市での『 相撲教室の組織化 』により、小学生～中学生～女子～高校生～社会
人と『 全般 』に渡り大活躍。このことは県相撲歴で初めての事です。

今後の課題は、少子化対策、明日を担う選手の発掘や育成、県連・郡市連の組織の
充実など皆さんと共に活動しましょう。

【 第11回富山県武道協議会 武道祭が開催 】

令和7年3月8日(土) 県営富山武道館にて『 第11回富山武道協議会 武道祭 』が開催
されました。日本古来の伝統文化である武道活動の披露実演会です。

『 富山県武道協議会 』では、県相撲連盟ほか 県柔道協会、県剣道協会、県空手連盟
県合気道連盟、県少林寺拳法連盟、県なぎがた連盟、県銃剣道連盟、県営武道館などの
10団体が加入。県相撲連からの役員は 『 顧問に夏野元志(県連会長)、委員に西浦
俊昭(県連副会長)』。また 新県立武道館建設推進に県相連から西浦俊昭が就任中。

内容では、中川忠昭会長の挨拶後に 柔道⇨相撲⇨合気道⇨弓道⇨剣道⇨空手道⇨少林
寺拳法⇨なぎがた⇨銃剣道 の演目が実施されました。

相撲の演目では、基本動作と決まり手など 中山昌、三澤
賢人、安田篤史、岡田めぐ、山田潤苗、中瀬日向、中瀬葵の
7名が披露し喝采を受けておりました。

追伸 ⇨ 中学生の授業において 文部科学省では日本古来
の武道を取り入れる事で数年前より進めております。
全国では柔道・剣道ほか一部の学校では 相撲や
なぎがたも取り入れているそうです。



【 国民スポーツ大会:国スポ (旧名 国民体育大会)の改革提言 1月5日より 】

アマチュアスポーツ選手の参加目標である国民スポーツ大会(国スポ)の改革案の大枠が1月5日判明した(判明というのは決定でなく大筋素案)。本年3月に日本スポーツ協会(旧名:日本体育協会)の有識者会議に提言され 今後 更に審議されていく。現在の国スポは、1946年(昭和21年)から始まり80年目の大改革作りである。

☆ 何故改革が必要か？

- ・ 47年に一度廻ってくる国スポは、選手や地域住民にとって重要な大会で楽しみにしており、これをきっかけに地域スポーツの発展に寄与している。
- ・ 国体に出場する事は選手のみならず学校や地域の方には大変な名誉であるが近年たくさんの競技が増え 各種全日本大会が開催され国スポ(国体)の関心が低下しているのは 残念ながら事実だろう。
- ・ また スポーツ・社会構造・趣味・意識の分散化によりオリンピック以外の世界選手権や日本選手権などへの競技が増え薄れている。人気がある競技、逆に興味の無いスポーツなど差がある。
- ・ 国スポは、競技種目や参加選手・役員人数が増え、中央開催県における選手強化や役員のスタッフ、宿泊の確保 また会場の改修や新設、それに伴う道路や交通機関のインフラ整備など莫大な費用が必要。この人や財政負担の軽減などに全国都道府県知事会では 従前より改革を要望してきた。

☆ 今回の提言は？

- ・ 秋季スポは毎年9～10月に11日間以内で、また冬季スポは毎年12～2月開催の集中開催を ☞ 『1年をとおして各競技を分散開催』する。
- ・ 分散することにより、オリンピック選手や有名トップ選手が参加しやすく盛り上がる。
- ・ 分散することにより、会場の確保がし易く 新規施設の必要が無い。
- ・ 役員や選手の輸送や宿泊地が確保し易い。
- ・ 役員や選手人数の制限、一部協議の隔年開催や場合により一部種目の廃止も？
- ・ 宿泊先の確保、大量輸送車両の確保。競技役員・大会役員や補助役員など一度に多数の人員が軽減、また 年間を通した分散会場のため新規会場の建設などによる財政が軽減など ☞ 大いに効果が期待できる。

☆ 疑問点もある

- ・ しかし、提言の中で オリンピック選手などの有名な選手が参加し易いことは疑問。国・開催県・競技団体などが 『国スポに参加下さい』とお願いしても他国外大会日程や国スポ参加無関心選手などが出場してもらえる？ 大会が盛り上がる？

☆ 現在 **全国中学校体育大会**における一部
の中止やこれに伴い**北信越中学校体育大会**
の検討も始まっている。
近年 少子化が著しく、かつ私達の生活や
趣味の多様化によりスポーツ界も多様化し
これらの時代の変わりように各競技団体や
学校、市町村スポーツ協会などで意識改革
や対応が求められる。

いずれにしても私達は、スポーツで健康づくり
や 絆の輪を広げ これからも仲間と共に楽し
みましょう !



【 大相撲 3月場所(春場所) 私感 】

☆**先場所**は 大関琴桜、豊昇龍、大の里 また関脇若元春にとって重要な場所でした。
優勝争いは、初日から金峰山が勢い、続くは武尊富士や王鵬そして追いかけるは豊昇龍
何と千秋楽では、金峰山12勝、王鵬12勝、豊昇龍12敗で決定戦にもつれ込み、豊昇龍が
1回で2連先勝し『見事2回目の優勝』。そして横綱審議委員にて第74代横綱に昇進。
先々場所の琴桜との優勝争いや今場所の豊昇龍の相撲内容は素晴らしいものがありました
この心境の変化は何だったのでしょうか？人間って『ある言葉、ある決意』に
よって変身するんですね！
それにしても大関琴桜や大の里、関脇若元春らは先場所までの活躍は何だったんでしょう
プロの世界では コンスタンスに実力を発揮するのは難しい！ 毎場所事が勝負か？

☆ **今場所**は、新横綱豊昇龍・王鵬・琴桜・大の里を中心に ベテラン霧島・大栄翔・若元
春の復活 また、若元春・若隆景・熱海富士・阿炎・猿飛・宇良の取り口が土俵を沸
かせ 若手では金峰山、武尊富士、伯桜鵬の活躍が楽しみ。

☆ 朝乃山関が怪我を回復しつつ、復活してほしい！ 朝日町出身の旭水野や高岡出身
の富豊ほか富山県出身力士に活躍を期待する。応援しましょう！

☆ **4月6日(日)** 富山市総合体育館にて **大相撲春巡業『富山場所』**が開催。
主催は 北日本新聞社、朝乃山後援会、サンライズプロモーション北陸。

【 特集 】 富山県出身力士の1年間の成績

皆さん けがをしないよう 関取をめざし頑張ってください！

黄色枠：勝越

赤文字：1年間の最高位

力士		5月場所	7月場所	9月場所	11月場所	1月場所	3月場所
朝乃山 石橋 広暉	高砂部屋 富山市 富山商業・近大	小結 休場	前頭12 休場	十両 3 休場	幕下 1 休場	幕下41枚 休場	三段 21
	H6.3.1 31歳 187cm 170kg 近畿大学 高砂親方(元関脇 朝赤龍)						
旭水野 水野 翔	大島部屋 朝日町 富山商業高	三段 26 1勝	三段 58 5勝	三段 26 2勝	三段 49 4勝	三段 30 3勝	三段 46
	H16.3.12 21歳 169cm 138kg 大島親方(元関脇 旭天鵬)						
富豊 とみゆたか 前田 悠翔	時津風部屋 高岡市 金沢学院高	三段 52 3勝	三段 65 4勝	三段 46 4勝	三段 32 3勝	三段48 5勝	三段 18
	H12.7.8 24歳 180cm 143kg 時津風親方(元前頭筆頭 土佐豊)						
飛驒野 飛驒野幹人	荒汐部屋 富山市	序二 25 5勝	三段 80 4勝	三段 61 2勝	三段 87 3勝	序二 31 3勝	序二 56
	H2.9.14 36歳 177cm、133kg 荒汐部屋(前頭2 蒼国来)						
坂林 坂林 欣紀	尾上部屋 高岡市 高岡向陵高	三段 55 4勝	三段 37 2勝	三段64 3勝	三段 80 2勝	序二 36 5勝	三段 80
	H11.11.28 25歳 175cm 131kg 尾上親方(元小結 濱ノ嶋)						
霧乃華 中嶋駿太郎	荒汐部屋 高岡市	序二 79 4勝	序二 45 3勝	序二 65 2勝	序二 82 5勝	序二 45 2勝	序二 77
	H17.1.8 20歳 179cm 91kg 荒汐親方(元前頭2 蒼国来)						
常川 常川 凉介	荒汐部屋 南砺市	三段 38 2勝	三段 63 5勝	三段 31 0勝	三段 82 2勝	序二 37 3勝	引退 ごろうさま
	H6.10.17 30歳 181cm 124kg 荒汐部屋(前頭2 蒼国来)						
千代烈士 川口 大地	九重部屋 南砺市 高岡向陵高	三段 59 2勝	三段 82 4勝	三段 63 3勝	三段 78 休場	引退 ごろうさま	
	H15.4.3 21歳 172cm、119kg 九重親方(元大関千代大海)						

【 ちよつといい話⑥ 一部の方は 先月号と重複記載

☆ 国技館内の優勝額掲示より

優勝回数、本場所数ほかを読む

東京の国技館内の天井付近に『歴代幕内優勝力士の額』があり、TV観戦や会場入りした方は知っていると思います。皆さんは、毎年6場所が開催されるごとに6枚ずつ増えていくと『どうなっちゃう？』と考えてことはありませんか？

国技館では、天井付近(大鉄傘)には 東、西、正面、向正面の4箇所各8枚ずつ**32枚の額が設置**されて披露されております。2場所ごとに 古い優勝額から順次取りはずされます。

はずされた額は、優勝力士に渡され その後 本人が所属の相撲部屋や関係ある方・団体・施設に寄贈されるそう。縦3.2m×横2.3m、重さ60kgの特大サイズです！従って、特大の為に収容される場所は 限られてきます。



令和元年5場所
優勝額 朝乃山閣
令和6年初場所に取り外し

優勝回数では、白鵬(45)、大鵬(32)、千代の富士(31)、朝青龍(25)、北の湖(24)、2代目貴乃花(22)、輪島(14)、双葉山(12)、武蔵(12)、曙(11)、10回が常ノ花、北の富士、栃錦、照ノ富士。富山県出身では太刀山(9)、2代目梅ヶ谷(3回)、朝乃山(1回)。

但し、双葉山、常ノ花、太刀山、2代目梅ヶ谷は **本場所が年2回の時代**で近年の6場所換算すると3倍すると良いのかな？ また 幕内優勝回数(赤字)20回以上の力士は『大横綱』とも言えるでしょう！

大相撲における『本場所』は、**現在6場所だけ**けど過去はどうだったのだろうか？文献によると世の中が安定した江戸時代では 各地方・神社仏閣・お抱え大名などが興業していたが 特に盛大だったのが 江戸が年2場所、京都・大阪が年1場所。その後も年2場所が続き各10日間が開催され 江戸時代の川柳で『相撲取りは 1年を20日で暮らすいい男』とうらやましがられたそう。

現在の力士数は、番付表で600～650名もいるそうだが、他のスポーツ界と同様に強い力士(選手)、イケメン力士、地元の力士、有力なタニマチがたくさんいる力士はモテモテ。いずれの世界でも、ごく少数で実力したい・・・ プロは厳しい！

さて江戸後期～明治～大正～**昭和32年迄に概ね2場所**(昭和で1～5場所の時もあり)そして**昭和33年(1958:67年前)に現在の6場所**になりました。

私(岩井中)も優勝額は、両国の国技館のみならず 黒部市内や県内外の体育施設・学校・公民館で見ることがあり、額を見て その時代の大相撲や自分のアマチュア選手時代蔵前国技館、両国国技館で大会に参加したこと、そして相撲以外の時代の思い出にふけることがあります。みなさんの中には、優勝額を見ることにより その時代の大相撲の力士達や その当時の自分を思い出されるのでは？

今回 令和6年12月26日北日本新聞より 朝乃山閣の優勝額の記事より追記しました。頑張れ 朝乃山ほか富山県地元力士や北信越出身大相撲力士達！